

## 企業名

株式会社シンフォディア・フィル

## 代表者名

滝口 収

## 設立年月日

平成19年7月26日

## 資本金

2,000万円

## 従業員数

10名

## 所在地

〒252-0131

相模原市緑区西橋本5-4-30  
さがみはら産業創造センター2-506

TEL. 042-770-9405

FAX. 042-770-9406

<http://symphodia-phil.wix.com/symphodiahp>[sp\\_support@symphodia.co.jp](mailto:sp_support@symphodia.co.jp)

## 事業テーマ

モータ、変速機などの故障予兆を振動で見える化するシステムの開発



滝口 収 社長

# 測定技術の見

高い測定技術を有する当社は、技術の価値化を課題としていた。

## 自社の技術を「見える化」したい

当社は、センシング（機器や周辺環境の状態を高精度に測定すること）とアクチュエーション（センシングに基づいて機器を動作させること）に関わる高い技術力を有しています。

ただ、当社の高い技術力は、文字や言葉で説明するだけでは顧客に提供できる価値のイメージが伝わりにくいということが、当社にとっての悩みでした。そうした中で、技術開発センターが入居するSIC（さがみはら産業創造センター）の担当者から「ものづくり補助金を使って当社の技術力を見える化できる試作品を作ってはどうか」と提案がありました。当社としても、顧客の依頼に基づく試作品では自分たちが思う通りの試作はできないこと、完成後の成果は自社の財産とはならないことから、自主事業として試作品を開発したい思いがあり、申請を決めました。

開発したのは、周波数のゆらぎで被測定物の挙動を測定できる省電力・小型モジュールの試作品です。モジュールにはデータの可視化、継続的な測定が可能となるソフトウェアを組み込み、無線通信にも対応し、データを保存できるようにしました。

さらに、取り付けるセンサーを変更することで、あらゆる対象物の挙動を測定することができます。

## インフラからヒト・植物まで対象は広がる

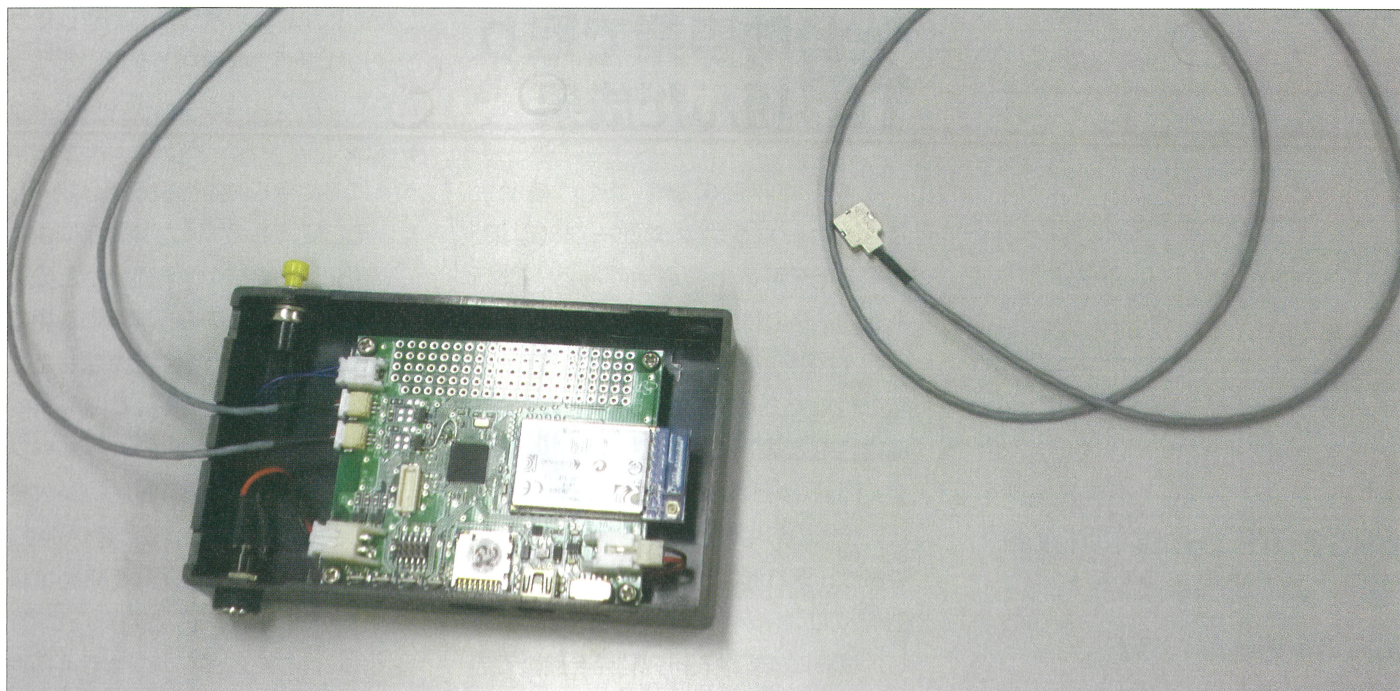
当社で想定した狙いは、インフラ設備などに長期間にわたって設置し測定することで「故障予兆」を測定することでした。ただ、共同研究を行う大学教授たちのネットワークを通じて当社の技術が紹介されたり、当社が試作品を各種展示会に持ち込みアピールを行う中で、より幅広い分野の顧客からの引き合いがあり、小型モジュールによる測定のニーズがあることが分かってきました。

素材・設備・重機メーカーといった企業からの引き合いのほか、さといもの挙動を測定する実験を行うなど、農業・園芸分野での事業化も検討しています。実際にモジュールという形にしたことで、当社技術に対する想定しなかった市場ニーズを発見できたことが予想外の成果でしたね。

今回の補助事業では、盛り込みたい機能を全て入れたオリジナルの試作品を製作でき、それをベースに顧客企業にカスタマイズすることでカスタマイズ費用を得たり、補助事業後に特許を出願したことで顧客企業からロイヤリティや開発費を得るなど、単に製品を売るだけでなく収益の上げ方が可能となりつつあります。また、様々な分野での事業化に向けた取り組みを行っており、今後1～2年でどの分野が事業として有望かを見極めたいと考えています。診断事業を一から請負うソリューションの提供も可能ではないかと考えています。

# 見える化で市場拡大！

その解決策となったのが、補助金を活用した当社技術を「見える化」する試作品の開発だった。



▲補助事業での試作品

## 相模原を起点 にネットワークを拡大

神奈川、相模原という立地はとても価値があります。旧知の顧客との繋がりがあことはもちろん、相模原での異業種交流や SIC 内において情報収集が行いやすいこともメリットであり、試作品の基板や、試作品のカスタムメイドに使用しているソーラーパネル・蓄電池等は神奈川の企業に依頼しており、今後の量産時にも依頼可能な企業が多数あります。また、関東の大学との共同研究も多くあります。

新規採用にも取り組んでいます。展示会のためのサンプル品の準備などの業務を理工系の大学生にアルバイトとして依頼して当社の業務を知ってもらい、続けたいと思った学生をそのまま

社員として雇用したり、共同研究をしている教授から当社で仕事したい意思のある学生を推薦してもらい、入社に至った実績があります。

拡大する市場機会に対して、周辺の企業・大学・学生を巻き込んだネットワークを形成し、ネットワークを活用し利益をシェアしながら対応していくことが、事業ビジョンとなっています。

## 企業概要

当社は、センサーに関わるハードウェア、ソフトウェアの設計・開発を手掛ける企業である。代表者である滝口氏は、大手電子機器メーカーで先行開発エンジニアとして従事した後に独立し当社を設立した。本社のある山形と、技術開発センターのある相模原は、ともに滝口氏が在籍した大手電子機器メーカーの工場や開発拠点があることから関連企業が集積しており、そうした企業との取引が売上の中心となっている。相模原の技術開発センターでは、取引企業から持ち込まれる機器のカatalog用の特性測定なども行っている。9名の従業員は全てエンジニアであり、測定、ハードウェア、ソフトウェアなどそれぞれの専門分野を持ったスペシャリスト集団である。



▲挙動をソフトウェアでグラフ化